

受付 番号	被推薦者及び応募者						推薦者等 （ ）：法人又は団体の場合		
	候補者氏名	職業	年 齢	性 別	経歴	漁業経営 の状況及 び漁業者 又は漁業 従事者で あるか否 かの別	氏名 （名称・目的）	職業・年齢・性別 （代表者又は管理人の氏名・ 構成員の数・構成員たる資 格）	推薦・応募の理由
1	田村 亘	団体 役員	58	男	S58.4～S61.3 青森県立八戸水産高等学校 S61.4～R7.3 青森県（農林水産部）勤務 R7.4～R8.5 八戸機船漁業協同組合 常務理事 R7.5～ 青森県機船底曳網漁業連合会 常務理事 R8.5～ 八戸機船漁業協同組合 代表理事組合長	－. ー. 非漁業 者・非漁 業従事者	市川漁業協同組合・ 水産業協同組合法に 基づき、漁業を行う ための団体	代表理事組合長 木田茂美 正組合員 72 名、准組合員 0 名、総組合員 72 名 正組合員はこの組合の地区内 に住所を有し、かつ、1 年を 通じて 90 日を超えて漁業を 営み又はこれに従事する漁民 等。准組合員は、この組合の 地区内に住所を有する漁民で 上記に掲げる者以外の者。	青森県農林水産部において長年にわたり、水産行政に携わり、豊富な知識と経験を培うとともに、本県漁業の振興と発展に大きく貢献した。 現在は、八戸機船漁業協同組合代表理事組合長として漁業者の立場に立った組合運営と地域漁業の発展に尽力している。 行政と漁業現場の双方に精通し、資源管理や漁業調整に関する優れた見識と公平な判断力を有していることから、東部海区漁業調整委員として最適任である。
2	田村 亘	団体 役員	58	男	S58.4～S61.3 青森県立八戸水産高等学校 S61.4～R7.3 青森県（農林水産部）勤務 R7.4～R8.5 八戸機船漁業協同組合 常務理事 R7.5～ 青森県機船底曳網漁業連合会 常務理事 R8.5～ 八戸機船漁業協同組合 代表理事組合長	－. ー. 非漁業 者・非漁 業従事者	八戸みなと漁業協同 組合・組合員が協同 して経済活動を行 い、漁業の生産能率 を上げ組合員の経済 的社会的地位を高め ることを目的とす る。	代表理事組合長 尾崎幸弘 総組合員 39 名 正組合員はこの地区内に住所 を有し、かつ、1 年を通じて 90 日を超えて漁業を営み又は これに従事する漁民。准組合 員は、上記に掲げる者以外の 者。	長年にわたり行政の職員として漁業者間の意見調整などに積極的に取り組んできた。 日頃から、漁業者の意見を丁寧に聞き公平な立場で物事を判断し、地域の漁業者からも評価されている。
3	田村 亘	団体 役員	58	男	S58.4～S61.3 青森県立八戸水産高等学校 S61.4～R7.3 青森県（農林水産部）勤務 R7.4～R8.5 八戸機船漁業協同組合 常務理事 R7.5～ 青森県機船底曳網漁業連合会 常務理事 R8.5～ 八戸機船漁業協同組合 代表理事組合長	－. ー. 非漁業 者・非漁 業従事者	八戸鮫浦漁業協同組 合・組合員が協同し て経済活動を行い、 漁業の生産能率を上 げ、もって組合員の 経済的社会的地位を 高めることを目的と する。	代表理事組合長 石戸宏明 正組合員 42 名、准組合員 35 名、総組合員 77 名 正組合員はこの地区内に住所 を有し、かつ、1 年を通じて 90 日を超えて漁業を営み又はこ れに従事する漁民。准組合員 は、上記に掲げる者以外の者。	長年にわたり行政の職員として漁業者への指導、漁業者間の意見調整などに取り組んできた。 日頃から、漁業者の意見を聞き公平な立場で物事を判断し、地域の漁業者からも評価されている。

4	田村 亘	団体 役員	58	男	S58.4～S61.3 青森県立八戸水産高等学校 S61.4～R7.3 青森県（農林水産部）勤務 R7.4～R8.5 八戸機船漁業協同組合 常務理事 R7.5～ 青森県機船底曳網漁業連合会 常務理事 R8.5～ 八戸機船漁業協同組合 代表理事組合長	一. 一. 非漁業 者・非漁 業従事者	八戸立縄協議会・漁 業秩序維持、漁業調 整	会長 坂岡正彦 構成員 25 名 三沢市から階上町までの 7 単 協の漁業者。	元県職員であり様々な漁業の調整を行ってきた。 経験が豊富である。 現在は、八戸機船漁業協同組合の組合長であり沖 のみではなく沿岸漁業に対する知識も持ち合わせて いる。
5	長根 幸人	会社 員	63	男	S57.4～S61.3 東京水産大学(現東京海洋大学) S62.4～S63.2 八戸土木事務所勤務 S63.6～H 元. 3 長根漁業従事 H 元. 4～R7.3 青森県庁勤務（水産振興課漁業管 理GM、八戸水産事務所長、海区漁業調整委 員会事務局長 等） R7.4～ 共和コンクリート工業株式会社海洋水 産部技術部長） R7.6～ 小川原湖漁協資格審査委員	一. 一. 非漁業 者・非漁 業従事者	階上漁業協同組合・ 水産業協同組合法に 基づき、組合員のた めに直接の奉仕を行 うための団体	代表理事組合長 畑中清二 正組合員 330 名、准組合員 2 名、総組合員 332 名 正組合員は階上町に住所を有 し、かつ、1 年を通じて 90 日 を超えて漁業を営み又はこれ に従事する漁民等。准組合員 は、上記に掲げる者以外の 者。	36 年間、青森県水産行政・技術指導・試験研究 分野に従事し、水産関係法令及び漁業生産現場で の漁場利用の調整等に精通している。 特に海区漁業調整委員会事務局長として、東部海 区の果たすべき役割を認識し、法律改正後の漁業 制度の運用に尽力し、委員と協同し円滑な運営に 貢献した。 現在は地域漁業団体と協力し、沿岸漁場の造成に 貢献している。
6	山田 晃	漁業	64	男	H8.3～ 白糠漁業協同組合正組合員 H8.3～ いか釣り、一本釣、採貝藻漁業に従事 H21.12～H27.12 白糠漁業研究会会長 H22.4～ 青森県指導漁業士 R6.3～ 白糠漁業協同組合代表理事組合長 R6.5～ 下北水産振興会監事 R6.5～ 東日本信漁連青森支店運営委員	いか釣 り、一本 釣、採貝 藻漁業。 年間従事 日数 200 日。 漁業者	白糠漁業協同組合・ 組合員が協同して経 済活動を行い、漁業 の生産能率を上げ、 もって組合員の経済 的社会的地位を高め ることを目的とす る。	代表理事組合長 山田晃 正組合員 343 名、准組合員 208 名、総組合員 551 名 正組合員はこの地区内に住所 を有し、かつ、1 年を通じて 90 日を超えて漁業を営み又は これに従事する漁民。准組合 員は、上記に掲げる者以外の 者。	30 年以上いか釣り漁業、一本釣漁業等に従事し て現場に精通し、漁業研究について熱心に取り組 み、安定した生産を上げている。 当組合の代表理事組合長を務めており、調整能力 に優れている。
7	尾崎 勝一	漁業	76	男	H11.4～ 三沢市漁協同組合正組合員 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚食 普及会委員 H23.7～H30.5 三沢市漁業協同組合監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R 元. 11～R3.3 三沢市漁業協同組合副組合長 R3.6～ 〃 R3.6～ 北浜海域ほっき貝資源対策協議会委員 R3.6～ 東共第 50・51 号調整協議会委員 R5.10～ 三沢市漁業協同組合蓄養施設検討委員 会委員	一本釣 り、はも 胴、たこ 漁業、か ご漁業。 年間従事 日数 119 日。 漁業者	三沢市漁業協同組 合・組合員が協同し て経済活動を行い、 漁業の生産能率を上 げ、もって組合員の 経済的社会的地位を 高めることを目的と する。	代表理事組合長 熊野稔 正組合員 465 名、准組合員 61 名、総組合員 526 名 正組合員はこの地区内に住所 を有し、かつ、1 年を通じて 90 日を超えて漁業を営み若し くはこれに従事する漁民、又 は事業場を有する漁業生産組 合。准組合員は地区内に住所 を有する漁民若しくは事業場 を有する漁業生産組合で正組 合員以外のもの、又はこの組 合の地区内に住所を有しない 漁民でその営み若しくは従事 する漁業の根拠地がこの組合 の地区内にあるもの。	平成 15 年以降 23 年にわたり、一本釣りをはじめ とした漁業に従事する中、熱心に漁場環境の調 査、研究にも力を注いでいる。県漁連の魚食普及 会委員を務めたほか、会社での管理職としての経 験も生かし、当組合では、監事、理事として、ま た現在では副組合長として、組合が水揚げ減少で 苦しむ中、組合長とともに常勤のように日々事務 所に出向き、長期的な展望をもって運営にあた り、調整能力も大いに発揮している。

8	尾崎 勝一	漁業	76	男	H11.4～ 三沢市漁協同組合正組合員 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚食普及会委員 H23.7～H30.5 三沢市漁業協同組合監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R元.11～R3.3 三沢市漁業協同組合副組合長 R3.6～ 〃 R3.6～ 北浜海域ほっき貝資源対策協議会委員 R3.6～ 東共第50・51号調整協議会委員 R5.10～ 三沢市漁業協同組合蓄養施設検討委員会委員	一本釣り、はも胴、たこ漁業、かご漁業. 年間従事日数119日. 漁業者	百石町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	代表理事組合長 工藤徳康 正組合員158名、准組合員1名、総組合員159名 正組合員はこの組合の地区内に住所を有し、かつかつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民。准組合員は、上記に掲げる者以外のもの。	当組合の運営に当たっては近隣漁協の三沢市漁業協同組合及び漁業者との連携が不可欠であり、その連携に当たって尾崎氏は常に長期的展望に立ち、その調整に努めるなど調整能力を大いに発揮している。 また、魚介類の資源減少が続く中、特にほっき貝の資源減少については、増殖に向けた検討について、現在、積極的に取り組んでいただいている。
9	尾崎 勝一	漁業	76	男	H11.4～ 三沢市漁協同組合正組合員 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚食普及会委員 H23.7～H30.5 三沢市漁業協同組合監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R元.11～R3.3 三沢市漁業協同組合副組合長 R3.6～ 〃 R3.6～ 北浜海域ほっき貝資源対策協議会委員 R3.6～ 東共第50・51号調整協議会委員 R5.10～ 三沢市漁業協同組合蓄養施設検討委員会委員	一本釣り、はも胴、たこ漁業、かご漁業. 年間従事日数119日. 漁業者	三沢市・地方公共団体	市長 小檜山吉紀 36,662人 －	三沢市の経済活動のなかで、三沢市漁業協同組合及び漁業者との連携が不可欠であり、その連携に当たって尾崎氏は常に長期的展望に立ち、その調整に努めるなど円滑な運営に貢献していただいている。 また、魚価向上のための蓄養施設検討についても現在積極的に取り組んでいただいている。